

# 朝日町 議会だより

第58号

平成20年8月1日



暑中お見舞い申し上げます

## 第3回 議会 定例会

	ページ
20年度補正予算、議員提出議案等	2～3
代表質問 3名	4～8
一般質問 2名	9～10
常任委員長報告	11
議会日誌 4月～6月	12

## PHOTO

子育て支援センター  
プールで遊ぶ子どもたち

発行編集 富山県朝日町議会だより編集委員会

20年度補正予算の主なもの		千円単位切捨て
一般会計（補正1号）		補正総額 4億9,536万円
あさひヒスイ海岸周辺整備事業		9,907万円
生活環境施設等整備事業貸付金		500万円
特別会計		
老人保健医療事業		2,440万円
19年度先決補正予算の主なもの		千円単位切捨て
一般会計（補正5号）		補正総額 8,786万円
あさひヒスイ海岸周辺整備事業		4,540万円
障害者福祉費		3,056万円
保育所整備費		3,008万円
重度心身障害者等医療費		1,236万円
道路橋梁新設改良事業		1,510万円
学校管理費		2,165万円
財政町政基金積立金		25,228万円
減債基金積立金		10,191万円
ふるさと活性化基金積立金		5,000万円
農山村活性化基金積立金		5,001万円
予備費		13,980万円
特別会計		
国民健康保険会計		2,420万円
老人保健医療事業会計		7,134万円
簡易水道会計		169万円
下水道会計		3,736万円

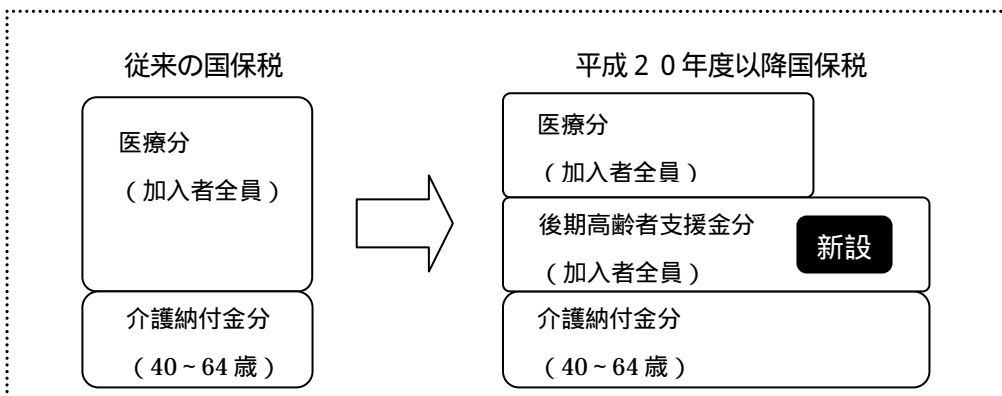
平成20年度補正予算・平成19年度  
 専決補正予算・条例改正・議員提  
 出議案など18議案を可決承認

### 条例改正

- 朝日町ふるさと活性化基金条例一部改正の件
- 朝日町農山村活性化基金条例一部改正の件
- 朝日町国民健康保険税条例一部改正の件【1】
- 朝日町妊産婦医療費助成に関する条例一部改正の件
- 朝日町ひとり親家庭等の医療費助成に関する条例一部改正の件
- 朝日町重度心身障害者等の医療費助成に関する条例一部改正の件
- 朝日町税条例一部改正の件（4月30日専決）【2】

20年第3回議会定例会は、6月6日から16日までの11日間にわたり開催され、20年度の補正予算や19年度の専決補正予算、条例の改正案などが審議され、原案のとおり可決・承認されました。また、議員提出議案が2件提案され、可決されました。

#### 【 1 】



後期高齢者医療制度導入に伴う町国民健康保険税条例一部改正



路線の一部が林道に変更されることとなった町道棚山線

町道路線の認定の件

その他の案件

【 2 】



ふるさと寄附金募集のチラシ（町税条例一部改正）

「非核日本宣言」を求める意見書  
 医師・看護師不足を解消し、安心できる地域医療体制の確保を求める意見書

議員提出議案

朝日町農業委員会の委員推薦の件  
 朝日町三枚橋282番地  
 廣田誼氏(64歳)の推薦に同意

人事案件

請願・陳情

採択となったもの

「非核日本宣言」を求める意見書についての請願

継続審査となったもの

五箇庄小学校存続と早期改築の請願書



五箇庄小学校

教育予算の拡充を求める意見書  
 採択の請願書  
 富山県の最低賃金の大幅引き上げと中小企業支援を求める陳情

東京朝日会総会

5月17日、東京青山において第25回東京朝日会総会が開催され、議会からは3名出席しました。  
 総会では、事業報告、会計報告、新年度事業計画の承認の後、退任役員や新任役員の紹介が行なわれました。続く親睦会でも、故郷の話題が尽きることなく和やかな一日となりました。



東京朝日会総会



## 後期高齢者医療制度について

大森 憲平（創政会代表）

質問 この制度の説明を。

制度施行に対する問題点やトラブルはなかったか。

65歳以上75歳未満で一定の障害ある人の加入選択について、該当者は何人か。

答弁 町長 後期高齢者医療

制度は、国会で議決され本年4月から施行された。75歳以上及び65歳から74歳までで一定の障害のある人を対象とする。従来の人を保健制度では高齢者自身が医療費をどの程度負担しているか不明で、財政運営の責任も不明確だと指摘されていた。今後もし高齢化が進み、老人医療費が増大すると予想されるなか、国民皆保険を堅持し持続可能な医療制度として創設された。この制度の運営は、県内15市町村すべてが加入する富山県後期高齢者医療広域連合が行っている。当町では、本年3月議会にて「朝日町後期高齢者医療に関する条例」を制定し、4月から業務に当たっている。

答弁 澤田民生部長 後期高

齢者医療制度の施行以来、問い合わせはあるが特に問題やトラブル等は発生していない。

一定の障害のある65歳以上75歳未満の人は、制度への加入は任意であり、加入しない場合は資格喪失届出書を提出することになっている。該当者には、4月上旬に富山県後期高齢者医療広域連合からこの旨案内が送付されており、被保険者資格の取得や喪失については、75歳未満の任意加入の期間において随時届け出ることができ、当町での任意加入の該当者は、4月1日現在で121名であり、全員が後期高齢者医療制度に加入している。

再質問 75歳以上だと制度内

容もなかなか理解できない。対象者を集めて説明会などしないのか。

再答弁 要請を受けて担当職員

が出前講座として出向いているし、今後必要があれば出向いて説明をしたい。

## 住民要望について

再々質問 今後とも制度内容に

ついて説明が必要な場面があると思うので、対応をお願いしたい。

質問 あさひヒスイ海岸周辺

整備事業はどのような事業か。泊商店街の空き店舗について町ではどのように考えているのか。

答弁 町長 北陸新幹線ト

ネルの残土仮置場として平成7年度から土地賃借契約して使用していた4万3千平方メートルの土地がある。仮置場としての使用後に、この土地で農林水産省の交付金事業による交流施設の整備計画を進めてみたが、一部の地権者の承諾が得られず事業を断念している。そこで契約のとおり使用後に土地を農地に原形復旧し返還する作業を地権者などと協議し進めていた。その矢先に境地区で協議がなされ、土地の返還を受けても維持管理ができない人が多いことから、町での買取りとパークゴルフ場などの整備要望とともに、用地の取りまとめや完成後の施設管理は地元で行うなどの要望書が提出された。当町では、地区の強い要望にこたえたいと考え、今回パークゴルフ場や芝生広場、多目的広場からなる運動公園整備を計画している。

答弁 善万産業部長 コンビ

ニやドラッグストアが進出するなど、住民にとっては消費行動範囲が広がる一方、既存商店街の廃業・撤退を余儀なくされ、憂慮している。なりわいとして営業を続けていくだけの購買がないと個人経営としての存続が厳しい現状であるが、多くの個人店舗の方々に



運動公園整備予定地（北陸自動車道と国道8号に囲まれたエリア）

は、消費者に利便性を提供すべく努力をしていただいている。当町としても、これまでも商工会と協力のもと、「あさひ商品券」や「すこやか応援券」の発行による町内消費の向上や、「おやすみ処」でのまちかど美術館事業をはじめとした各種企画で商店街のにぎわい創出を図っているところである。今後ますます想定される高齢社会に対応した商店街のあり方を、事業者をはじめ、住民や商工会とともに知恵を出し合い、安心して暮らせるまちづくりを進めていかなければならないと考えている。

学校問題について

**質問** 五箇庄小学校の校舎補強工事はいつするのか。当町の学校図書は、文部科学省が定めている標準を満たしているのか。

**答弁 教育長** 五箇庄小学校の西側校舎には、木造2本、鉄骨2本、合わせて4本の補強斜材を設置してあるが、そのうち木造の補強斜材は根元が腐食しているため、鉄骨による補強工事を発注しており、7月中旬に完了する。

学校図書館の整備を図る際の目標として、学校図書館図書標準が設定されている。図書の標準冊数は、学校の学級数により算出され、平成19年度、あさひ野小6千520冊、五箇庄小5千560冊、さみさと小8千360冊、朝日中1万1千200冊となっている。一方、各学校における蔵書数は、あさひ野小3千498冊、五箇庄小3千764冊、さみさと小6千951冊、朝日中7千823冊となっており、毎年新規購入する一方で廃棄処分も行い、計画的な図書整備を行ってきた。読書は、学力の向上となる読解力や豊かな感受性を身につけるために子どもに欠くことのできないものであり、そのために学校図書については、適宜更新を図りながら図書整備に努めたい。



あさひ野小学校の図書室

あさひ総合病院の経営について

脇 四計夫（日本共産党代表）

**質問** 医師・看護師不足による経営上の影響はどのようになっていくか。

**答弁 町長** 自治体病院としての使命で地域医療を守るために努力して行く。

**答弁 大宮あさひ総合病院事務部長** 病院経営の中心をなすのは、入院収益や外来収益等の医業収益であり、その中でも半分以上の大きなウエイトを占めているのが入院収益である。今回の常勤内科医師3名の減は、入院患者に対し24時間責任をもつて診療に当たる常勤医師が少なくなったということであり、そうなれば、おのずと入院患者も減少し、当然ながら収益に影響することになる。4月、5月の患者数は、入院、外来とも内科患者の減少が著しく、内科医師の減がいかに大きな痛手となっているかを痛感している。当分の間は、病院建設の起債償還や減価償却費が発生することから、経常収支を直ちに改善することは大変厳しい。

今後とも、この縮小した診療体制を一刻も早く解消できるよう、最重要課題である医師と看護師の確保に向け積極的に取り組んでいきたい。

**再質問** 県に対しても、地域医療を守るために医師を確保する一層の努力を要望すべきだ。



診療を行なう あさひ総合病院の医師



後期高齢者医療制度について

質問

これまで加入していた健康保険をぬけて、後期高齢者医療制度の被保険者として、保険料を年金から天引きされ、健康診断、外来、入院、終末期まで、あらゆる段階で75歳以上の人には安上りの差別医療を押しつけ、保険料は2年ごとの見直しによる引き上げが懸念されているなど、問題のある制度と考えるが、

当町における後期高齢者医療制度への加入対象者は何人なのか。

答弁 町長

後期高齢者医療制度は、今後さらに進展する高齢社会に対応し、高齢者の方々がこれからも安心して医療を受けることができる持続可能



後期高齢者医療制度をお知らせするパンフレット

な、公平でわかりやすい制度とするために創設されたものである。また、障害者の後期高齢者医療制度への加入については、富山県重度心身障害者等医療費助成は、後期高齢者医療制度の加入者のみが医療費助成の給付の対象となっている。障害者団体より、後期高齢者医療制度の未加入者についても

医療費助成の給付の対象としてほしい旨の要望があるが、制度未加入者も助成対象とすることは保険料負担との関係など公平性に問題があると考えており、県の助成制度は見直しの必要がないと県に答えている。一方で、低所得者等の保険料負担軽減等を考えるべきとの意見をつけて答えている。

答弁 澤田民生部長

4月1

日現在、当町の後期高齢者医療制度の被保険者数は、75歳以上が2千619人、65歳以上で一定の障害のある人121人の計2千740人である。

再質問

国民は誰もが健康を保ち、最低限度の生活をする権利がある(憲法25条)。それに照らして、この制度をどのように考えているのか。

再答弁 憲法を踏まえた上で、法律が制定されていると理解をしている。

再々質問

国民は誰もが法律で差別されてはいけないと定めている(憲法14条)。これをどう考えるのか。

再々答弁 今後、長く医療制度や保険制度を維持していくための制度として、また、際限のない負担であっても困ることから、公で5割、現役世代から4割、本人が

1割という仕組みになっており、制度が差別かどうかは、言えるものではない。

再々質問

確定申告による所得税の納付期限は例年3月15日だが、今年は土曜日なので、17日の月曜日となった。このように納期が取引日でないときは、次の取引日になる。ところが、後期高齢者医療制度の保険料は、6月13日に天引きされる。これは膨大な金額であり、金融機関において次の月曜日まで二日間運用できることになる。これは、憲法29の財産権の侵害に当たると考えられるがどうか。

再々答弁

それ自体が法律で定められていると理解するしかない。

再々質問 憲法92条は、「憲法は国の最高法規であって、その条項に反する法律は効力を有しない。」となっている。私は、後期高齢者医療制度は廃止すべき憲法に違反する制度だと考えるが、最後に、これまでの質問を踏まえて、町長の考えを聞かせてほしい。

答弁 町長

最高機関の国会で決められたことに従うことが役割でもあり、憲法論については、それ以上のことはコメントを控えない。

## 学校関係について

中 陣 将 夫（誠友会代表）

### 質問

小学校教育環境等整備事業基金の使用目的について問う。朝日中学校舎の建て替えの必要性を説明されたい。

五箇庄全世帯に対して回覧が出たと聞いているが五箇庄小学校問題を今後どのように地区と話し合うのか。

### 答弁 教育長

朝日町立小学校教育環境整備基金は、平成3年に統合小学校の財源に充当するため条例が設置された。この基金を活用して、さみさと小学校やあさひ野小学校を建設してきた。また、小学校の統合とあわせて学校跡地の整備を円滑に行うため、平成15年に基金条例の一部改正を行っており、小学校の統合や学校跡地の環境整備の財源としている。

朝日中学校は昭和56年改正の建築基準法以前の設計であるため耐震補強の対象施設として耐震診断や耐震補強計画等を実施した。診断の結果は、地震時の許容耐力が不足していることから、耐震補

強工事が必要であり、その費用は、ランチルームと2階の体育館を含め、概算で約14億円かかる。今年度にランチルームと体育館の耐震補強実施設計を行うこととしているが、文化体育センター第2体育室も、昭和51年の建築であることから、今年度に耐震診断と耐震補強計画等を行う。この併設の2施設は、接合部等の問題もあり、同時設計、同時施工が有効と考えている。なお、朝日中学校は、昭和57年に21学級<sup>84</sup>人の生徒数で開校しているが、現在は10学級<sup>365</sup>人と、開校時の半数以下に減少しており、余裕教室がかなり生じてきている。校舎の耐震補強を行うとすれば、こうした余分な箇所も含めて補強工事の対象となり、かつ26年経過した建物の補強工事を行ったとしても、その耐用年数が延びるわけではない。このことから、現在の生徒数に見合う規模の校舎に建て替えて機能改善を図り、教育環境の質的向上を図ることが

必要と考えている。

五箇庄小学校問題に関する五箇庄全体に回覧が出ているというこ



朝日中学校と文化体育センター第2体育館

とについて、町は関与してないので答弁は控えさせてもらう。

### 再質問

五箇庄地区と相對するときに、「2校でいく」「児童数が減っているから」と繰り返してきているが、そのような対応で、果たして住民の心をつかめるのか。もっと愛情のある対応をして、地区民とひざを合わせて、話し合いをするべきではないのか。

### 再答弁

お互いに話をしながら、今までの経過、そして町教育委員会とすれば、町全体のことを含めて五箇庄地区の理解を得ようと話を進めているので、一方的に五箇庄地区に対して話を進めているということはない。

### 再々質問

当町の将来を担う子どもたちが、片や新築されたすばらしい学校で勉強している。片や押しつぶれるような学校で勉強している。そういったときに、校舎を建て替えることも1つの案である。速やかに子どもたちを、さみさと小やあさひ野小へ分散入学してもらうことも1つの方法である。理解が得られるよう誠心誠意話し合いをされたい。



資源リサイクルについて

**質問** 資源リサイクル、いわゆるバイオマスについて当町でも検討されると聞いているが、どのような内容なのか。

**答弁 町長** 当町では、農林水産省の交付金を受け、バイオマスタウン構想」を策定する中で、豊富な森林面積を活かした竹や木材等の未利用の木質系バイオマスや再生可能な有機性資源を総合的に調査し、これらを有効に活用する技術や利用方法の検討を行うことで地域の活性につなげたいと考えている。今年度は、町内に存在するバイオマスの利用可能量調査や活用についての総合的な検討を行い、役場内に検討会を設け、先進地の事例などを参考にしながら、有効かつ利用可能なバイオマスの検討・研究を行なっていきたい。

境界線の調査状況について

**質問** 山林の境界は、明確な図面がないため、地権者の口伝えや目印などで引き継がれてきているが、これらを解消する考えはないのか。

**答弁 町長** 外国からの安い

輸入木材によって戦後にたくさん植えられてきた森林がそのまま放置され、山地の荒廃を招き、山間の境界はますます不明確になりつつある。また、地権者の高齢化や不在地主の存在が今後ますます森林の管理を難しくし、土砂崩れなどの災害復旧の迅速な対応が困難になると考えられる。山林境界を明確にするためには、地権者の協力を得て、現地の調査や立会いによる境界の確認と周辺の情報提供が最も重要となる。たいへん地道な作業だが、取り組んで行きたいと考えている。



境界が不明確になりつつある山林

記事以外での代表質問

大森憲平議員

- ・あさひ総合病院について
- ・高波被害での復興の進捗状況について
- ・有害鳥獣対策について

脇四計夫議員

- ・石油高騰による福祉対策について
- ・高波被害について
- ・あさひヒスイ海岸周辺整備事業について

中陣將夫議員

- ・後期高齢者医療制度と国民健康保険税改正について

議会だよりでは、質問した内容を要約して掲載しております。すべてをお知りになりたい方は図書館での会議録の観覧、朝日町ホームページをご覧ください。

議事を傍聴してみませんか

定例会は3月、6月、9月、12月の年4回開催されます。日程については、議会事務局に問い合わせください。

永年勤続議員表彰

6月6日開会された議会定例会で大森憲平氏と水島一友氏が町議会議員として、10年の永きにわたり地方自治の振興と町発展に尽力された功績により、議決をもって議会から表彰されました。



議会から表彰された大森議員



議会から表彰された水島議員



## 農業問題について

稲村 功

**質問** 食料自給率低下を是正するため、農産物の価格保障、農業者の所得補償を国に働きかけるべきだと思いがどうか。

水田の機能として、洪水の抑制や地下水の保全機能が挙げられるが、3分の1にも及ぶ転作でその機能は低下している。この機能を守るためにも、水田を生かした飼料用の稲や米づくりの研究・試作を関係機関に働きかけるべきだと考えるがどうか。

**答弁** 大井産業課長 ライフ

スタイルや食生活変化により、米の消費が減少する一方で、国内生産が少ない畜産物や油脂類の消費が増加したことや、野菜や果樹などの国内生産量が減少したことにより、日本の食料自給率は39%と大きく低下している。こうした中、平成17年3月に策定された「新たな食料・農業・農村基本計画」の中で、食料の自給率目標を平成27年度に45%とすることを設定し、食育と地産地消の全国展開などが

らなる「消費面」での取り組みと、消費者ニーズに即した生産の促進や効率的な農地の利用推進などによる「生産面」での両取り組みを重点的に推進することとされたところである。



飼料用稲の実証ほ場

主食用米の需給への影響や生産コストなどの問題があるが、米政策改革対策の中で、飼料米やバイオエタノール米などの新規需要米の生産調整への導入が可能となり、その実用化に向けて産地づくり対策助成の対象にするとともに、低コスト米の生産が重要であることから、本年度は、実証ほ場30アールを設置して調査・研究の取り組みを始めたところである。今後とも、県農林振興センターや農協と連携を図りながら、実用化に向けて諸問題について検討したいと考えている。

## 教育問題について

**質問** 中学校建て替えとなると、多額の資金が必要となることから、耐震補強工事に留めるべきと考えるが、当町の考えは。

**答弁** 大村教育委員会事務局長

朝日中学校開校時に21学級841人だった生徒数が、現在は10学級365人に減少しており、余裕教室がかなり生じている状況である。耐震補強を行うとすれば、こうした余分な箇所も含めた大規模な改修工事になってしまうこと、さらに26年経過した建物の耐用年数が延びるわけではない。また、耐震

補強工事を行うと、窓に補強材が露出することになり、閉じ込められた感じがすることで学習環境を損なうことになる。それよりも、現在の生徒数に見合う規模の校舍に建て替えて機能改善を図ることが重要であると考えている。また、建て替えをすることで、今まで整備できなかった校内LANや冷暖房などの充実が可能となる。

**質問** 五箇庄小学校は耐震診断の対象になったのか。

**答弁** 教育長 補強が可能であるような建物は耐震診断を行い、補強しても無理だという建物は耐

力度調査を行なう。耐力度調査は、その建物の構造耐力や保有耐力、外力条件などの項目1万点の持ち点から減点していき、5千500点以下であれば、建て替えの対象となり、耐震補強の対象にはならない。

**再質問** 五箇庄小学校の耐力度は何点だったのか。

**再答弁** 4千点台であり、当然建て替えなければならない調査結果であるが、新たに建てることもできないという考えを持って統合をお願いしている。

## 町の定住事業について

廣田 誼

### 質問

住宅の新築状況は、過去5年間の推移、住宅取得奨励金の交付対象となった件数を問う。町外からの移住は何件あったか。よこお団地の販売状況について問う。

答弁 小川建設課長

平成19年度の住宅着工数は39戸である。住宅取得奨励金の交付対象は、過去5年間で115件あり、うち中古住宅は8戸である。平成19年度に建築され平成20年度に交付対象となるものは、33件であり、うち1戸が中古住宅である。

住宅取得奨励金の交付対象数のうち、町外からの転入は過去5年間で17戸あり、入善町や黒部市からの移住が主である。平成20年度は5戸である。現在までに、44区画中16区画の分譲販売をした。



よこお団地

昨年作成したパンフレット等で定住サポート事業のPRに努めており、徐々にではあるが、問い合わせも増えている。今後とも定住促進やよこお団地の販売促進に努めたい。

### 再質問

よこお団地に「よこお町内会」が発足したが、旭ヶ丘団地や向陽町団地のように集会所等の建設は考えていないのか。

### 再答弁

同じ団地と名が付くものの「公営住宅」と「分譲販売地」とで違いがある。今、集会所を公営で建てる考えはないが、よこお町内会発足に向けての会合は、役場の会議室を使用してもらった。泊一区になじんでもらう意味では、上横尾や宮本町の公民館など近くの集会所を借りて会合を行なう方法や、福祉センターなど町施設を利用する方法もある。

### 後期高齢者医療制度について

### 質問

保険証が届かないといったトラブルはなかったか。後期高齢者医療制度に移行した人のうち、新たな保険料納付者数はどのくらいか。前期高齢者で世帯員全員が65歳以上の人が、年金から保険料が天引きになった場合の対象者はどのくらいか。また、その周知はどうしているのか。

答弁 稲荷健康課長

保険証

は、富山県後期高齢者医療広域連合から被保険者あてに郵送されており、当町分は2千759通であった。保険証が届いていないという連絡

は何件もあったが、実際には届いていた。誤って郵便物を捨ててしまった人には、窓口で再交付している。

国民健康保険の世帯主以外の人と被用者保険の人を合わせて約千500人、全体の54%ほどと推計している。

本年10月から、国保世帯で、世帯員が65歳から74歳のみの方の国民健康保険税は、年金から天引きされることになる。ただし、年金の年額が18万円未満の場合や、国保税と介護保険料の合計が年金額の2分の1を超える場合は、天引きではなく、納付書や口座振替などで納めてもらうこととなる。対象世帯数は約550世帯、全体の約25%と推計している。周知については、退職者医療制度の廃止に伴い、65歳到達で退職国保から一般国保に移行する人に被保険者証を送付する際、年金からの天引きが始まる旨を説明したパンフレットを同封しているほか、70歳到達の人には高齢受給者証を送付する際もパンフレットを同封して案内している。今後ともこの趣旨を広報や該当者への案内などで周知していきたい。



## 常任委員長報告

### 総務産業委員会

当委員会は、6月12日午前10時から開催し、町道蛭谷東部線横の落石危険箇所現地調査を行い、議会から付託されました8議案を慎重審査いたしました結果、付託されております全案件は、それぞれ原案のとおり可決・承認すべきものと決しました。

次に、請願及び陳情の審査結果を申し上げます。

前回から継続審査となっておりました「請願」1件、「非核日本宣言」を求める意見書についての請願 については、願意妥当と認め、採択すべきものと決しました。

また、今期定例会において、議会から付託されました新規の「陳情」1件、富山県の最低賃金の大幅引き上げと中小企業支援を求める陳情 につきましては、継続審査にすべきものと決しました。



町道蛭谷東部線横の落石危険箇所を現地調査する総務産業委員会

### 民生教育委員会

当委員会は、6月12日及び13日、いずれも午前10時から開催し、議会から付託されました10議案を慎重審査いたしました結果、付託されております全案件は、それぞれ原案のとおり可決・承認すべきものと決しました。

なお、議案審査の過程において、次の要望、意見がありました。

- 1 後期高齢者医療制度について、町民に十分な説明を行うとともに、トラブルのないよう配慮されたい。
- 2 あさひ総合病院については、病院長のもと医師・看護師の不足する状況下にあっても、地域の病院の特性を生かした患者との信頼関係を築いていくとともに、安心で安全な診療体制づくりに努められたい。
- 3 五箇庄小学校のあり方については、地元関係者等とさらに積極的な協議をされたい。



医師不足により休止となっている あさひ総合病院5階病棟

次に、請願の審査結果を申し上げます。

前回から継続審査となっており「請願」1件 五箇庄小学校存続と早期改築の請願書 について継続審査とすることに決し、

また、今期定例会において議会から付託されました新規の「請願」1件、教育予算の拡充を求める意見書採択の請願書 についても、継続審査とすることに決しました。

## 優良議会表彰

6月30日開会された富山県町村議会議長会臨時総会において、朝日町議会が議会運営の向上と住民福祉の増進に努めた功績がみとめられ、優良議会として表彰されました。



## 議会日誌

四月

25日 議会だより編集委員会

28日 入善町・朝日町議会議員行政懇談会



入善町・朝日町議会議員行政懇談会

## 五月

- 1日、2日 県東部議会議長協議会行政視察(長野県飯田市)
- 12日 議会運営委員会
- 13日 日韓議員連盟役員会
- 17日、18日 第25回東京朝日会総会(東京)

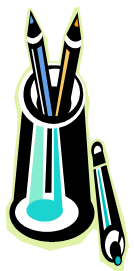
## 六月

- 2日 議会運営委員会
- 4日 県町村議会議長協議会(富山市)
- 6日 第3回議会定例会(提案理由説明・質疑)
- 9日 議会運営委員会
- 11日 本会議(代表・一般質問)
- 12日 総務産業常任委員会
- 13日 民生教育常任委員会
- 16日 議会運営委員会
- 議員協議会
- 本会議(委員長報告・討論・採決)
- 30日 県町村議会議長会臨時総会(富山市)



翡翠カップに出場し交流を深める議員チーム

## 編集後記



2月24日早朝に富山湾を襲った高波により被害を受けられた方々には心よりお見舞いを申し上げます。

6月議会では新年度補正予算を審議するなど厳しい財政環境のもと最小の経費で最大限の効果を得られるよう求めるとともに、国や県に災害復旧等について要望を行なうなど営々努力を重ねております。また、医師不足が問題になり、地域医療の拠点でもある、あさひ総合病院も厳しい局面に立っています。町当局や議会も一丸となって国に要望意見書を提出して、一刻も早く医師の充実と快適な医療環境が提供され、町民の皆様にも“安心”を届けられる病院になるように議員一同努力を注ぎ意を新たに組みんでいく次第です。

### 議会だより編集委員

- 中陣将夫 吉江守熙
- 大森憲平 水野仁士
- 水島一友 脇四計夫